

令和4年 第26回
教育委員会臨時会会議録

令和4年12月26日(月)

港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2602号
令和4年第26回臨時会

日 時 令和4年12月26日(月) 午前10時00分 開会

場 所 港区役所7階 教育委員会室

「出席者」	教 育 長	浦 田 幹 男
	教育長職務代理者	田 谷 克 裕
	委 員	中 村 博
	委 員	寺 原 真希子
	委 員	山 内 慶 太

「説明のため出席した事務局職員」	教育推進部長	星 川 邦 昭
	学校教育部長	上 村 隆
	教育長室長	佐 藤 博 史
	生涯学習スポーツ振興課長	竹 村 多賀子
	図書文化財課長	齊 藤 和 彦
	教育人事企画課長	瀧 島 啓 司
	教育指導担当課長	篠 崎 玲 子

「書 記」	教育総務係長	本 城 典 子
	教育総務係	藤 井 俊 輔

「議題等」

日程第1 審議事項

- 1 港区立幼稚園教育職員の人事について（非公開）
- 2 港区学校運営協議会委員の任命について

日程第2 報告事項

- 1 港区立スポーツ施設指定管理者の公募について
- 2 港区立生涯学習センター及び港区立青山生涯学習館指定管理者の公募について
- 3 港区立図書館指定管理者の公募について
- 4 港区立郷土歴史館指定管理者の公募について
- 5 MINATOシティハーフマラソン2022の開催結果及び2023大会の開催候補日について
- 6 卒業式のあいさつについて
- 7 後援名義等の11月使用承認について

- 8 生涯学習スポーツ振興課の11月事業実績について
- 9 生涯学習スポーツ振興課の各事業別利用状況について
- 10 生涯学習スポーツ振興課の11月事業予定について
- 11 図書館の11月分利用実績について
- 12 図書館・郷土歴史館の11月行事实績について
- 13 図書館・郷土歴史館の1月行事予定について
- 14 みなと科学館の11月利用状況について
- 15 1月教育人事企画課事業予定について

「開会」

○教育長 ただいまから、令和4年第26回港区教育委員会臨時会を開会いたします。

(午前10時00分)

「会議録署名委員」

○教育長 日程に入ります。本日の署名委員は、田谷委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○田谷委員 了解いたしました。

「本日の運営」

○教育長 まず、本日の運営について、お諮りいたします。審議事項第1、議案121号「港区立幼稚園教育職員の人事について」は、非公開での審議としたいと思います。

また、報告事項第1から第4までの4件の報告事項については、内容に重複をしている部分がありますので、一括して説明を受けてから質疑を行いたいと思います。

ご異議はございませんでしょうか。

(異議なし)

○教育長 ご異議がないようですので、審議事項第1については、港区教育委員会会議規則第13条第2項に基づきまして、非公開といたします。

また、報告事項第1から第4までにつきましては、一括して説明を受けた後に質疑応答を行うことといたします。

日程第1 審議事項

1 港区立幼稚園教育職員の人事について（非公開）

○教育長 それでは、日程第1、審議事項に入ります。これより非公開の審議に入ります。

(非公開審議)

2 港区学校運営協議会委員の任命について

○教育長 次に、議案第122号「港区学校運営協議会委員の任命について」、説明をお願いいたします。

○教育長室長 「港区学校運営協議会委員の任命について」ご説明をいたします。去る11月28日の臨時会でご承認を頂きました令和5年1月スタートの芝浜小学校学校運営協議会につきまして、港区学校運営協議会規則第6条により、任命をいたします。

学校運営協議会の任期は規則により2年以内とし、委員は対象学校の校長が推薦できるようになっております。芝浜小学校学校運営協議会委員10名を任命。任期は、令和6年3月31日までといたします。

任命日は、令和5年1月1日です。

別紙といたしまして、学校からの推薦書をおつけしております。

よろしくご決定くださいますようよろしくお願いいたします。

○教育長 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、採決に入ります。議案第122号について、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○教育長 ご異議がないようございますので、議案第122号については、原案どおり可決することに決定をいたしました。

日程第2 報告事項

- 1 港区立スポーツ施設指定管理者の公募について
- 2 港区立生涯学習センター及び港区立青山生涯学習館指定管理者の公募について
- 3 港区立図書館指定管理者の公募について
- 4 港区立郷土歴史館指定管理者の公募について

○教育長 次に、日程第2、報告事項に入ります。「港区立スポーツ施設指定管理者の公募について」「港区立生涯学習センター及び港区立青山生涯学習館指定管理者の公募について」「港区立図書館指定管理者の公募について」「港区立郷土歴史館指定管理者の公募について」、それぞれ説明をお願いいたします。

○教育長室長 それでは、資料1を用いまして、まず「港区立スポーツ施設指定管理者の公募について」ご報告いたします。港区立スポーツ施設について、現在の指定管理者の指定期間が令和6年3月31日に終了するため、新たな指定管理者の公募を行います。

「対象施設」は、港区スポーツセンターをはじめ、御覧の9施設となります。

2ページを御覧ください。「指定期間」は、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となります。

「公募単位」です。区内のスポーツ施設において、同一管理者による運営は区民サービスに対しまして連携や連動性、そして経済性などの効果も高く、活動するスポーツ団体の活動状況、活動地域、競技レベルの一元管理やスポーツ団体の参加を希望する区民への情報提供も充実いたします。スポーツ推進計画の基本目標に掲げますスポーツ活動を支援するための環境整備にもつながることから、対象の9施設を一括で公募いたします。

「スケジュール」となります。年明けの2月から公募を開始いたします。応募期間は約3カ月を取りまして、事業者提案の検討期間を十分に確保いたします。7月には選定作業を行い、9月から10月の令和5年第3回定例会の指定議案として、審議を頂く予定となります。

こちらの説明は、以上となります。

○生涯学習スポーツ振興課長 では続きまして、生涯学習スポーツ振興課より、本日付報告資料ナンバー2を用いまして、「港区立生涯学習センター及び港区立青山生涯学習館指定管理者の公募について」ご報告いたします。こちらにつきましては、令和6年3月31日に現在の指定管理者の指定期間が終了するために、新たな指定管理者の公募を行うことについてのご報告でございます。

項番1「対象施設」は、記載のとおりでございます。

項番2「指定期間」につきましては、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となっております。

項番3「公募単位」でございます。生涯学習センターと青山生涯学習館は、ともに区民の生涯学習環境を醸成させる施設であり、また青山生涯学習館は、生涯学習センターの分館という位置づけであることから、同一の事業者による運営で相互連携を図り、効率的な管理運営、事業展開等が期待されます。また、個々に指定管理者を選考した場合、青山生涯学習館は指定事業が少なく、裁量の余地がほとんどないため、民間のノウハウを生かした事業展開が望めません。こうしたことから、二つの施設をグループ化し、効率的・効果的な管理運営を期待するため、一括公募といたします。

最後に、項番4「スケジュール」でございます。こちらは、報告事項1のスポーツ施設の指定管理者公募と同様ですので、説明は省略させていただきます。

以上となります。

○図書文化財課長 続きまして、報告事項3と4を図書文化財課から説明させていただきます。まず1点目、報告事項3「港区立図書館指定管理者の公募について」、本日付資料ナンバー3を御覧ください。

項番1「対象施設」は、表にございますとおり、令和6年4月から区立図書館となる港区立台場図書館を加えた7館1分室でございます。

項番2「指定期間」は、ほかの施設と同様ですので、説明を省略します。

項番3「公募単位」についてですが、表にございます二つのグループに分けて公募をします。こちらについては、資料の2枚目「別紙」で詳しくご説明をさせていただきます。

図書館の指定管理者の公募は、回を重ねるごとに参加事業者が少なくなってきています。直近の5館1分室をグループ化して実施した公募の参加事業者は1事業者のみにとどまっております。この状況を踏まえまして、複数の事業者が公募に参加しやすい環境整備に向けて、事業者にヒアリングを行っております。

その結果、新規で参加する事業者にとっては、区立図書館の全ての指定管理を一括のグループで公募をすると、人員確保などから参加が難しいということが分かりました。ヒアリングの結果ですとか他自治体の状況を踏まえ、令和6年度からの指定管理期間における指定管理者の公募については、競争性が働きかつスケールメリットが期待できる二つのグループに分けて実施することといたしました。

グループの構成の考え方として、コスト面の観点から、指定管理業務をまとめて発注することで、コスト削減が容易となるため、建物全体の指定管理業務を担うみなと図書館と麻布図書館を同一の

グループとし、運営の効率性の観点から隣接する図書館を同一のグループとしてまとめております。

このことから、グループ1にみなと図書館、麻布図書館、赤坂図書館の3館。グループ2に三田図書館、高輪図書館、高輪図書館分室、港南図書館、台場図書館の4館1分室としてグループ化しております。

「スケジュール」につきましては、他の施設と同様ですので、説明は割愛させていただきます。

続きまして、報告事項4「港区立郷土歴史館指定管理者の公募について」です。本日付資料ナンバー4を御覧ください。「対象施設」は、港区立郷土歴史館。「指定期間」と「スケジュール」については、他の施設と同様でございます。

説明は以上です。よろしくお願いたします。

○教育長 ただいまの報告事項1から4まで、まとめて報告をさせていただきました。それぞれについて、質問等はございますでしょうか。

○山内委員 公募に当たっては、どうきちんと再度選定できるかということが肝心になる。そのためには、今それぞれ指定管理者がやってくれていた内容について、今の状況についての課題というのでしょうかね。何をもっと改善すべきか、何が問題であったかと。あるいは何がよかったかということを一回整理しておくということが大切だと思います。

今日も一括で説明していただいた指定管理の内容も、ある程度施設の管理とか利用者の出入りの管理が中心のものから、おそらく図書館のように、かなり内容のサービスの本質にまで関わっているようなものまで多岐にわたると思うので、やはりそれぞれに応じた課題の整理というのが必要だと思いますけれども、その点はどんなふうになさっているのでしょうか。

○教育長室長 港区立スポーツ施設に関しましては9施設ありますけれども、こちらは前回も相当な数が来ましたので、事業者が複数参加できる期待が非常に高い。ただ、こちらは利用に当たっての安全面のところ、そして利用しやすい環境、近隣との兼ね合い。そういったものも広く見ながら、やっていただきたいということがあります。当時とまた変わってきた社会状況なども踏まえたスポーツの在り方。見る、する、支える。そうしたスポーツの在り方について、積極的な事業者提案を受けたいということで、今後要項をしっかりと課題に応じたものとして備えて、提案をしてもらう、決定していこうと思っております。

以上になります。

○生涯学習スポーツ振興課長 では続きまして、生涯学習センターと青山学習館の指定管理についてです。

スポーツ施設と異なりまして、生涯学習センターと青山学習館の方につきましては、前回も2社からの応募ということで、多くの応募はなかなか難しいところかなとは思っておりますが、より多くの事業者から公募を頂けますように、資料の方は分かりやすくつくってまいります。

また、こちらからの要望といたしましては、現在機能として少し弱さが出ております情報発信力ですとか、相談機能の部分。また、施設の認知度の部分を向上できるように、指定管理者を公募してまいりたいと考えております。

以上です。

○図書文化財課長 続きまして、港区立図書館についてですけれども、こちらについては先程ご説明させていただきましたとおり、平成21年からグループ化しての公募というものを実施しているのですが、回を重ねるごとに応募の事業者が少なくなってきております。

これから、現在の令和6年度に向けて公募いたします7館1分室については、全館一括での公募とすると、もう事実上1社しか応募できる会社がないと。非常に強い1社がございますので、そこありきの話になってしまうということで、広く提案を受けること。また、グループ化してのコストの面、コストの削減という意味でも一定程度グループ化が有効ですので、そこを踏まえて、このような2グループでの公募とさせていただいています。

現在の事業者の評価ですけれども、月1の図書館館長会ですとか月例のモニタリングで一定程度、館の運営というのは職員が見守っている状況でございます。

以上です。

○山内委員 あと、郷土歴史館はいかがですか。

○図書文化財課長 失礼しました。郷土歴史館ですけれども、こちらについては、今回指定管理が平成30年11月の開館から5年4カ月、現在の事業者で指定管理運営をしていただいていますけれども、2回目の公募ということになります。

前は2社参加をしていただいて、現在の事業者1社を採用しているところですが、こちらについては学芸員と指定管理者の共存と言いますか、区の直営の学芸員がいて、そこを指定管理者が施設の管理運営を行うということで、なかなか運営に難しい部分があるのですけれども、特別展、企画展の運営と、指定管理者のサービスというものを共存させるような提案をしっかりと求めていきたいので、その部分をしっかりと採点していきたいなと考えています。

以上です。

○教育長 ほかはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、これらの報告については、以上とさせていただきます。

5 MINATOシティハーフマラソン2022の開催結果及び2023大会の開催候補日について

○教育長 次に、「MINATOシティハーフマラソン2022の開催結果及び2023大会の開催候補日について」説明をお願いいたします。

○生涯学習スポーツ振興課長 それでは、「MINATOシティハーフマラソン2022の開催結果及び2023大会の開催候補日について」本日付報告資料ナンバー5を用いまして、ご説明いたします。

本件は、港区マラソン実行委員会及び公益財団法人東京陸上競技協会が主催するMINATOシティハーフマラソンについて、2022大会の開催結果及び2023大会の開催候補日について、ご報告するものでございます。

項番1「2022大会の開催結果（概要）」でございます。

(1) 日時につきましては、記載のとおりでございます。

(2) コースにつきましては、別紙1を御覧ください。今回のコースは、中止となった昨年2021大会とほぼ同様のコースでございますが、最後に開催いたしました2019大会と比較しますと、札の辻から品川駅にかけてが再開発の関係で道路使用ができなかったり、芝四丁目の交差点から芝浦側をコースとしておりましたが、こちらも使用ができず、コースから外れております。

(3) 交通規制につきましては、その次の資料、別紙2を御覧ください。こちらは、コース周辺に配布いたしましたチラシと同じものとなります。もっとも早くから交通規制を掛けた場所は、ランナーの待機場所となる赤羽橋から日比谷通りの芝公園グランド前。また、特別区道第1021号線、増上寺と東京プリンスの間の道になりますが、こちらが午前7時30分から規制を掛けております。そのほかにつきましては、スタート30分前の8時過ぎから順次交通規制が始まり、ランナーの通過後、規制が解除となっております。解除がもっとも遅かった場所は、飯倉からゴールの東京タワー前で、11時30分ございました。

交通規制に関しましては、このようなチラシ配布のほか、コース沿道だけでなく、周辺の国道、都道、区道にも大会開催の1カ月前から案内看板や横断幕を設置いたしました。また、横断ができなくなる横断歩道には、歩行者向けに看板を設置いたしました。

続きまして、(4) 天候でございます。こちらは報告資料の5にお戻りいただきまして、1ページ目項番1の(4)を御覧ください。週間予報では、雨という予報が出ている時期もございましたが、大会当日の開催中は、ほとんど雨も降らず、全てのプログラムを予定通り実施することができました。また、11月開催ということで、ランナーにも従事スタッフにも、バランスのよい天候だったかと考えております。

(5) 参加者数等でございます。アの(ア) ハーフマラソンにつきましては、参加者は記載のとおりでございます。エントリーランナー5,625名に対しまして、当日の出走者は4,873名。完走者は4,650名となっており、完走率は95.4%と高くなっております。

なお資料にはございませんが、ハーフマラソンの完走者の最高年齢は、男性で89歳。タイムは2時間6分41秒でございます。女性につきましては、76歳。記録は2時間39分39秒となっております。ファンランにつきましては、ゴールの確認もしてはおりませんが、出走した年齢といたしましては、男性が86歳、女性は89歳が最高年齢でございます。

続きまして、2ページ目のイ、収容関門の対応者数。ウ、医療救護所での対応につきましては、資料のとおりでございます。

(6) 表彰につきましても資料のとおりでございますが、陸連登録者の部、男性1位の飯野さんは、大会新記録での優勝となっております、前回に続いて2回連続の優勝。同じく陸連登録の女性の部、第1位の兼重さんにつきましては、3回連続の優勝となっております。また、一般の部の男子1位の坂口亨さんも2019大会に続いて、2回連続の優勝となっております。

(7) のゲストランナー、(8) の運営体制につきましては、資料のとおりでございますので、説

明は省略いたします。

(9) 協賛金につきましては資料のとおり、116社から合計で1億を超える協賛金を頂いております。

最後に、項番2「2023大会の開催候補日」でございます。次回2023大会は、11月の第3日曜である、令和5年11月19日の日曜日を候補として、東京陸連や警察等との競技を行ってまいります。関係機関との協議をへて、年明け3月の総会で日程を決定する予定としております。

少々長くなりましたが、説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの説明に対して、ご質問等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

6 卒業式のあいさつについて

○教育長 それでは、次に「卒業式のあいさつについて」説明をお願いいたします。

○教育指導担当課長 それでは、報告資料ナンバー6を用いまして、「卒業式のあいさつについて」報告をさせていただきます。令和4年度の小・中学校の卒業式の挨拶文で使う内容の候補が決まりましたので、報告をさせていただきます。

では、資料を御覧ください。まず、小学校です。内容につきましては、「港区の子どもとして、平和で明るい未来を築いて欲しい」という願いを込めた文になっております。

題材としては、こども平和塔です。芝公園にある物でございます。選定理由としては、大きく3点上げてございます。世界情勢的にもウクライナとかロシアの件もございましたので、今年度は平和の尊さを感じるようになった年であり、小学校の卒業生に平和で明るい未来を築くことの大切さを伝えるよい機会であるというところ。

2点目としましては、こども平和塔は世界平和の理念を子どもたちの心に刻むことを目的として建設されまして、今は平和祭りは、なくなってしまったのですけれども、これからも「平和のシンボル」であるというところで2点目。

3点目が、戦後の混乱の中で、生きることの大切さを子どもたちに伝えるために、田澤鏝二さんという方が、7年間かけて建設したということがあげられます。ちなみに田澤鏝二さんにピックアップをして文章をつくるつもりはないのですけれども、田澤鏝二さんという方がどんな方かと言いますと、愛知県出身で東京帝国大学を卒業されたお医者様です。平和協会の元となっている駒沢病院の医院長をされていて結核の研究をされていたそうです。ご自身が太平洋戦争で息子さんを3名亡くされて、結核の観点からの命の尊さ、それから、やはり戦争をやると平和に生きていけないということから、ご自身で何かするというよりは、全国の子どもたちに呼びかけて7年間、例えば自分たちのお小遣いとか、あと廃品回収をしてお金を集めて、世界に向けて発信できるような平和の塔を築こうということで、7年かけて芝公園に築くということをし遂げたという方でございます。

ですので、港区にそういった昔の方たちの思いがあるようなこども平和塔があるので、そこを皮切りに平和で明るい未来を築いてほしいということをお伝えしたいかなと思っております。

続きまして、中学校です。内容といたしましては、「仲間と協力し、困難や課題を克服しながら目標を達成する喜びを感じて欲しい」というようなものでございます。

題材としては、東京タワーを取り上げようと思っております。選定理由は三つ、ここに書かせていただいておりますが、今年度は引き続き感染症を警戒しながらも、行事等も含めまして、様々なことができるようになった年であり、力を合わせて復興することの大切さを伝えるよい機会であるかなというところです。

2点目が、東京タワーは昭和33年の完成以降「戦後復興のシンボル」、そして「日本一高い建物」として、当時から国民に親しまれてきたと。本来ですと、私的な建物については、挨拶文で触れるものではないのかなというところでしたが、平成25年には国の登録有形文化財にも登録されておりまして、区民にとっても港区のシンボルであるというところで、こちらについて触れさせていただきたいと思っております。

なお、平成20年度以降の挨拶の一覧については、別紙をつけさせていただいております。平成20年から小学校は福沢諭吉さんから始まって、昨年では大谷翔平さんでした。中学校の平成20年度は太宰治さん、それから小林誠さん、益川さん、南部さんという方から始まって、昨年度は高輪築堤のことを触れさせていただいたところで、参考に書かせていただきました。

簡単ではございますが、以上です。

○教育長 ただいまの報告について、質問等はございますでしょうか。

○山内委員 では一言だけ。特に異論がある訳ではないのですが、東京タワーって確かに扱い方、どう説明するか、難しいですね。ある意味で東京タワーができたということで、特に港区民の気分が変わったということがあると思いますが、一方で、あれはやはり日本電波塔という会社のタワーであるので、前田久吉をはじめ前田家の同族会社ですから、そこをどううまく切り分けて話すかというところは、工夫が必要かなと思いつつ伺いました。その辺もお考えのようでしたので、結構だと思いますけれども、ぜひ上手な工夫をお考えください。

○教育指導担当課長 承知いたしました。ありがとうございます。

○教育長 ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、この報告は以上とさせていただきます。

- 7 後援名義等の11月使用承認について
- 8 生涯学習スポーツ振興課の11月事業実績について
- 9 生涯学習スポーツ振興課の各事業別利用状況について
- 10 生涯学習スポーツ振興課の11月事業予定について
- 11 図書館の11月分利用実績について
- 12 図書館・郷土歴史館の11月行事実績について
- 13 図書館・郷土歴史館の1月行事予定について
- 14 みなと科学館の11月利用状況について

15 1月教育人事企画課事業予定について

○教育長 次に、「後援名義等の11月使用承認について」から「1月教育人事企画課事業予定について」の9件の定期報告については、配布資料のとおりとなっております。それぞれ各報告事項について、ご質問等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これらの報告事項は以上とさせていただきます。

本日予定をしている案件及び報告事項は全て終了いたしました。委員、または説明員の皆さんからその他、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、特段の事情がなければ、今回が今年最後の教育委員会となります。今年も1年間本当にありがとうございました。

コロナの状況がまだまだ落ち着かない状況ではございますけれども、先程も報告がありましたように、例えば区民祭りについては台風が1年あったので、4年ぶりの開催。そしてMINATOシティハーフマラソンは3年ぶりの開催。また各学校の授業等についても様々な工夫をしていただいた中で、それぞれ予定どおり実施ができた年なのかなと思ってございます。

また、全体で見れば、鉄道開業150周年。この前二水会の会合があったときに、ガス会社の方からも「実はガスも150周年なんです」というPRもあったのですが、そういう年でもございました。

2023年、来年になりますと勝海舟の生誕200年だそうです。そして、また大河ドラマが「どうする家康」ということで、徳川家の関係。そして、また関東大震災から100年ということ、それぞれ色々な意味での節目の年ということ、区政全体の中でもそれらをどう、例えば災害については、この際またしっかりと対策を取っていこうというような形で、来年に向けて準備をしているところでございます。

また、名誉区民。これは12月2日に決定されたのですが、ブライダルファッションデザイナーの桂由美さん、そして女優の水谷八重子さんということ、来年の3月18日に顕彰式も行うという形で、そういう状況でございます。

そして、4月にはこれも皆さんが御承知のように、統一地方選挙の中の区議会議員選挙がございます。そういう年でございます。また色々な面で、コロナの状況も含めて、変わってくるところがあると思いますが、引き続き来年も港区の教育をさらによくしていくため、そして、子どもたちにとってよい年になるように様々、私たちがまた力を合わせてやっていきたいと思っております。

1年間どうもありがとうございました。そして、また来年もどうぞよろしくお願いいたします。私からは以上になります。

「閉会」

○教育長 これをもちまして、閉会といたします。次回の定例会は、1月11日水曜日になります。午前10時から参集での開催ということでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

会議録署名人

港区教育委員会教育長 浦田 幹男

港区教育委員会委員 田谷 克裕